

正智深谷高等学校特別コラム

# Mind Charging

Since 2020

第257回

ウェルギリウス

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和3年6月14日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

**Let us go singing as far as we  
go: the road will be less tedious.**

生きるかぎりは歌いながら行こうよ。

道はそうすれば、それだけ退屈でなくなる。

プーブリウス・ウェルギリウス・マローは、ラテン文学の黄金期を現出させたラテン語詩人の一人である。共和政ローマ末の内乱の時代からオクタウィアヌスの台頭に伴う帝政の確立期にその生涯を過ごした。『牧歌』、『農耕詩』、『アエネーイス』の三作品によって知られる。ヨーロッパ文学史上、ラテン文学において最も重視される人物である。



## Column

この言葉を知って“思わず歌を口ずさみたくくなるような人生”について考えてみました。“毎日が輝いている！”といった常に幸せを感じられる理想的な毎日が想像できました。しかし、これまで過ごしてきた人生を振り返っててください。100年時代と言われる現代で、まだ20年も経っていないのに山あり谷ありではないですか？そういった経験から『思わず歌を口ずさみたくくなるような人生？そんな人生あるわけないよ…』と思う人も少なくないのかもしれませんが、それを言ってしまうと、おそらくその人にはそれに近い人生も訪れないのかもしれませんが。そう感じる理由として“道はそうすれば退屈でなくなる”という言葉に込められているように感じます。

幸せを心から実感している時に退屈だと思ふ人はいません。また、“これなら退屈な方がいい”と思うような辛いことも『今後の自分の幸せに繋げる材料集めだ！』と言い聞かせ、しっかりと向き合うことによって、目の前は辛いことでも未来に待つ幸せに到達するための“道”を進むことになると思います。それはある意味、辛いことでも幸せに感じられることであり、そういった感覚で目の前に起こる様々な出来事に常に向き合っていくこと、つまり“退屈でない状態を保つ”ということが『幸せを勝ち取る大前提』と教えられたように感じました。

私も時々やってしまいますが、何のアクションも起こさないまま『何か楽しいことないかな…』とぼんやり考えてしまうことがあります。挑戦があつてこそ結果があります。今回の言葉のように“はじめの一歩”を踏み出すことが自分の人生を豊かにするアクションです。小さくても構いません。一歩踏み出してみましょ。その都度出る結果に対し、試行錯誤しながら歩む人生にワクワクはあっても退屈なんて存在しないはず！